

◆赤十字病院の図書委員会をご紹介！～役割と活動～◆

# 図書委員会を兼ねた広報委員会の役割と事務局である広報学術系の業務

大岸 真寿美

## I. はじめに

私の所属する医療情報課広報学術係は、図書室内（図1）に執務デスクがあり、係長、主事の2名で広報・学術支援・図書の3業務を行っています。主たる業務は広報であり、

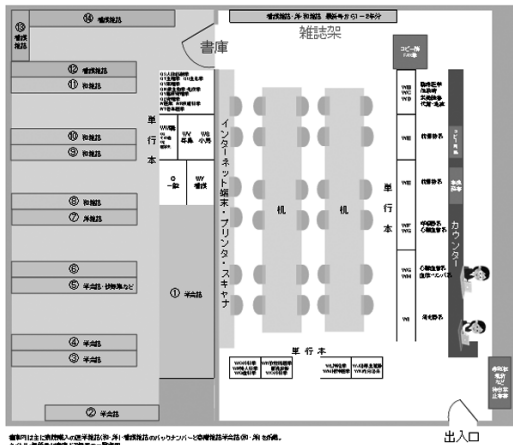


図1 図書室内イメージ（略式）

公式ホームページおよび facebook の管理運営、院内・院外誌や各種パンフレット・ポスター、案内ビデオ、年報の編集を行っています。学術支援業務は、文献や情報を検索・入手できる環境を整えることを目的に、文献検

OGISHI Masumi

徳島赤十字病院 医療情報課広報学術係（図書室）  
TEL：0885-32-2555 FAX：0885-33-3613  
lib@tokushima-med.jrc.or.jp

索やコピー、取寄せ、スライド作成補助、医学雑誌編集などを行っています。図書業務は、バーコードによる図書管理、電子ジャーナルの利用統計、個人購入図書の仲介、患者図書室の運営、図書の購入検討などです。当院では、広報委員会で図書室の運営に関する審議を行っています。

## II. 広報委員会

### 1. 活動内容と人員構成

活動内容と人員構成は下表のとおりです。なお、委員会の規約等はありません。

目的	地域並びに患者様等への適正な医療情報の提供を図る機関
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホームページ・院外報等を通じた地域並びに患者様への医療情報の提供</li> <li>2. 院内誌等、職員への最新情報の提供</li> <li>3. 図書室の運営</li> <li>4. その他、委員会が必要と認める事項</li> </ol>
委員長	医師
委員	医師4名、看護師4名、メディカルスタッフ2名、事務職4名 ※2019年度の構成
担当課（責任者）	医療情報課 ※医療情報課長、広報学術係長および主事の3名

委員構成はあらゆる職種の意見が反映されるよう考慮しています。歴代委員長は診療部長が務め、医師委員には副院長1名、医局世話人医師1名を含みます。副院長は経営部とのパイプ役として、また毎年の選挙で医局世話人に選出された医師が医局代表として参加しています。看護師は看護副部長1名と看護部・外来・病棟から看護師長や看護係長が参加します。メディカルスタッフは、検査部・放射線科部・薬剤部の3部署が毎年持ち回りで委員を1名選出していますが、2019年度はそれ以外に参加希望があったため2名となっています。事務職は、病誌連携、社会活動など広報を必要とする部署からの参加です。なお、年報に関する検討委員会はありませんが、医学雑誌は「医学雑誌編集委員会（委員長：副院長、担当課：医療情報課広報学術係）」で別途検討しています。

## 2. 開催日程と参加状況

原則的に毎月第一木曜の午後開催、30分程度で終了します。祝日と重なった場合は第二木曜に振り替えるなど、開催しない月はありません。2018年度の出席率は68%でした。議事録を毎回作成し、経営部へ報告するとともに、出席・欠席を問わず委員全員に配布します。

## 3. 議題

広報誌の内容、WEBサイト関連、新規購入希望図書については毎回検討しています。電子ジャーナル等の更新前には、資料として利用統計と価格の一覧を提示し、継続・中止を審議します。

## 4. 検討例

### (1) 図書購入と洋・和雑誌の継続

新規図書を毎月、診療科を含む各部署の要望を受けて検討しています。各部署の長から図書購入申請書を提出してもらい、委員会で検討後、広報学術係から用度課へ物品請求書を提出する、という流れです。また、洋・和雑誌の継続については年1回、各部署の長にアンケート（図2）を実施します。部署別に購読タイトルの価格と利用統計を提示し、継続・中止を検討してもらいます。アンケート回収後、全タイトルについて、部署名、利用統計、価格の一覧を作成し、委員会で継続・中止を検討します。継続希望タイトルであっても、アクセスが少ない場合は中止することもあります。承認後、広報学術係が稟議書を作成し、最終的には経営部判断となります。

※確認後印画をお願いします。  
●●先生  
印

**循環器内科 御中**

2018年9月5日

現在、下記の洋雑誌を購入しておりますが、更新時期がまいりましたので、来年も継続購入するかどうか調査致します。**継続・中止のいずれかに印を**ご記入の上、**9月XX日(金)**までに図書室まで提出して下さい。  
雑誌の価格も大欄に上書しております。経済的なことも考慮に入れて、各部署科(各部署)で必要不可欠な雑誌類に指定されますようお願いいたします。

洋雑誌

#	雑誌名	申請部署	2018年購読回数	【参考】		2018年単価
				2018年購読回数	2018年1-7月	
5	American Heart Journal	循環器内科	わろろ	XXXXX	44	継続 / 中止
7	Heart Rhythm	循環器内科	わろろ	XXXXX	132	継続 / 中止
9	JACC Cardiovascular Imaging	循環器内科	わろろ	XXXXX	31	継続 / 中止
10	JACC Cardiovascular Interventions	循環器内科	わろろ	XXXXX	233	継続 / 中止
11	JACC:Journal of the American College of Cardiology	循環器内科	わろろ	XXXXX	315	継続 / 中止
16	American Journal of Cardiology	循環器内科	わろろ	XXXXX	132	継続 / 中止
22	Catheterization & Cardiovascular Interventions	循環器内科	わろろ	XXXXX	176	継続 / 中止
23	Journal of Cardiovascular Electrophysiology	循環器内科	わろろ	XXXXX	14	継続 / 中止
28	Circulation	循環器内科	わろろ	XXXXX	137	継続 / 中止
33	Circulation: Arrhythmia & Electrophysiology	循環器内科	わろろ	XXXXX	131	継続 / 中止
34	Circulation: Cardiovascular Interventions	循環器内科	わろろ	XXXXX	66	継続 / 中止
42	European Heart Journal	循環器内科	わろろ	XXXXX	131	継続 / 中止
39	JAMA ※	循/救/産	わろろ	XXXXX	99	継続 / 中止

※複数タイトルとのセット購入の為、1誌のみの金額を出しません。  
アクセスが少ないタイトルにつきましては購読中止のご検討をお願い致します。  
<所属雑誌の処分について>  
病院で購入している和雑誌・洋雑誌は10年保存、ご希望いただいている学会誌等は5年保存となっております。保存期間を過ぎた雑誌については順次処分いたしますので、ご了承下さい。  
広報学術係（内線：3450/3449）

図2 アンケート（洋雑誌）

(2) 図書室へのペットボトル持ち込み許可  
 最近の動きとして、図書室へのペットボトル持ち込み許可があります。2017年に複数の医師から「図書室へペットボトルを持ち込んではいけないか」との意見が相次いだのを機に、ペットボトル持ち込みについて議論しました。従来、当院図書室は飲食禁止としており、オリエンテーションでもアナウンスしていましたし、飲み物を持ち込んでいる利用者を見かけたら「飲食禁止です」と随時注意していました。しかし、我々担当者が見えていない場合や帰宅後などに、飲み物を持ち込んでいることもあったようで、それを見た他の利用者が「自分も水分補給しながら閲覧したいのに」と不公平感を抱いたものと思われます。そこで、他の図書室の状況を調べてみたところ、国立国会図書館のポータルサイトに「図書館における飲料問題」について文献が掲載されていたので、要約したものを資料として委員会に提示しました。検討の結果、2017年12月に利用者アンケートを実施、その結果を受け2018年3月からペットボトルや水筒などフタ付飲料の持ち込みを試験的に許可しました。試験期間中、汚損などの問題が発生しなかったため、2018年7月からは本格的に許可することになりました(図3)。現在に至るまで飲料による汚損は1件も発生していません。

### (3) 公式ホームページに職員向けページを開設

2011年に開設した職員向けページ(図4)には、オンラインジャーナルや文献検索データベースの一覧、直近の所蔵図書(単行本、雑誌)一覧を掲載し、日本赤十字社医学図書館ページとの2本立てで職員に利用してもらっています。文献検索データベースのページに



図3 図書室内に掲示のポスター



図4 職員向けページ

は、看護部と共同作成した「看護研究の文献検索」スライドを掲載しており、看護研究委員会の研修や看護研究発表前の看護師に活用されています。他にも、学会発表スライド等によく使用される病院設備画像や、広報誌、医学雑誌、看護研究収録等のPDFを「徳島赤十字病院アーカイブス」として職員に公開するなど、利用者ニーズの高い項目を委員会で検討して職員向けページに集約しました。これにより、利用者への説明がスムーズに行えるようになり、図書業務の軽減にもつながっています。新任職員オリエンテーションで周知を図るほか、院内広報誌でも毎年アナウンスしているため、当院ホームページ内におけるアクセスランキングでは常に20位以内に入っています。なお、職員向けページは院内インターネット端末からは自由にアクセスできますが、院外からはID：パスワードが必要になります。

### Ⅲ. 委員会の目標と今後の課題

広報委員会の今年度の品質目標は「正確な情報発信と内容充実のため、ホームページの情報精査を年2回広報委員が分担して行う」と広報に軸足を置いたものになっていますが、そもそも委員会の目的は「地域並びに患者様等への適正な医療情報の提供を図る」ことであり、それは「医学および医療に関連する最新情報を提供し、医療の質の向上に寄与する」という大目的に他なりません。今後は、医学情報入手方法の周知不足や患者図書室の利用者減少などの課題を委員会議題に挙げていき、職員、患者さんを含むすべての利用者にとって「わかりやすく、利用しやすく、快適な」図書室づくりを目指します。